

# らいちょう *Raicho*

No.157  
2026.5.25

GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

## 目次

巻頭言	1~2
活動報告	3~6
会員の声	7

第36回岐阜県理学療法学会学術集会の参加を  
スタッフ一同お待ちしております



## 第36回

# 岐阜県理学療法学会学術集会 大会長挨拶



匠のまちで、  
皆様と共に  
学びを磨きましょう

大会長 **松岡 伸幸**  
(中部国際医療センター)

このたび、第36回岐阜県理学療法学会学術集会の大会長を務めさせていただきます、中部国際医療センターの松岡伸幸です。

本学術集会のテーマは「**渡し : crossing**」です。この「渡し」という言葉には、「つなぐ」「越える」「移る」といった多様な意味を含んでいます。

私たち理学療法士は、患者さんの“いま”から“これから”への橋渡しを行い、医療・介護・地域をつなぐ役割を担っています。また、教育・臨床・研究の領域を横断し、知識と技術を結びつけて新たな価値を創出していく専門職でもあります。社会や医療のあり方が大きく変化する今こそ、私たちは変化を恐れず、柔軟に越えていく力が求められています。

「渡し」というテーマには、こうした“変化への挑戦”と“協働の姿勢”を重ねています。これまで培ってきた経験を土台としながら、多職種・多領域・多世代と手を取り合い、新たな時代にふさわしい理学療法の形を探る機会としたいと考えています。

今回の学術集会は、岐阜県理学療法士会中濃支部が中心となり開催いたします。

開催地となる中濃支部には、江戸と京を結ぶ中山道の宿場町・太田宿があり、また木曾川には、かつて人々の往来を支えた「太田の渡し」がありました。地域をつなぎ、文化を運び、人々の営みを支えたこの「渡し」は、本学会テーマの象徴でもあります。

本学会では、理学療法の過去・現在・未来をつなぎ、県内外の多職種や世代を越えて意見を交わし、新たな発想が生まれる場となることを目指しています。特別講演、教育講演、一般演題などを通じて、多くの学びと出会いが生まれることを願っております。

最後に、本学術集会の開催に向けてご尽力いただいている準備委員の皆様、並びにご支援を賜っている関係各位に心より感謝申し上げます。

当日は多くの皆様にご参加いただき、理学療法の未来へ向けた“渡し”となる学会を共に作り上げていきたいと思っております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

# 第36回 岐阜県理学療法学会学術集会 登録理学療法士更新ポイント

6月14日(日) 中部学院大学 関キャンパス  
学会開催 区分1-11 医療と介護及び福祉の連携

## 特別講演

痙縮のメカニズムと  
spastic movement disorderの  
治療戦略



区分5-63 筋緊張異常

京都大学大学院 医学研究科  
先端理学療法学講座 教授

山口 智史先生

## 教育講演

“なんとなく触る”から卒業する—  
徒手的理学療法の学習戦略

～対象組織としての“Fascia(筋膜)”を含めて考える～



区分4-51 活動体としての  
人間理解：関節運動

平成医療短期大学  
理学療法専攻 教授

田島 嘉人先生

## 教育講演

基礎から学ぶ  
呼吸リハビリテーションの  
エビデンスと臨床

— 研究知見を臨床にどうつなぐか —



区分8-98 呼吸障害

中部学院大学  
看護リハビリテーション学部  
理学療法学科 教授

三川 浩太郎先生

## 教育講演

血液・生化学データの見方

～炎症と栄養状態を見極め  
運動負荷量の設定に活かす～



区分9-108  
栄養・代謝障害

岐阜保健大学  
リハビリテーション学部  
理学療法学科 教授

鈴木 啓介先生



## 障害者福祉の分野に携わってみて

特定非営利活動法人 りあらいず和 生活介護施設 スマイルドーナッツ **大谷 卓也**  
(岐阜県理学療法士会 障がい福祉・介護保険対策部員)

私は1982年に岐阜市民病院リハビリテーション科(当時は理学療法室)に入職し13年、その後美濃市立美濃病院に26年勤務し5年前に定年退職しました。美濃病院にはそのまま嘱託職員として残る道もありましたが、退職1年前に直腸癌が見つかり手術、抗癌剤治療などを行って健康上の不安もあり、また下の若い人たちの迷惑などを考えて自分の中では初めから残る選択肢はありませんでした。幸い直腸癌については転移も再発もなく一件落着きのように5年生存率70%のお仲間になりました。退職間際になって知人を介して、故郷の郡上八幡にある現施設から、うちの介護施設(いわゆるデイサービス)で働いてもらえないかというオファーを受け、最後に生まれ故郷で、また請われて仕事をすることが良いかと思い就職しました。長年医療の現場で仕事をしてきたので、ここではいったい自分は何をすればよいのだろうという不安もありました。当施設の利用者様(患者さんではない)は知的障害、精神障害、大人の脳性麻痺などの身体障害の方達(多くは重複障害)で障害区分が重度の方が大半で、これまで自分が関わってきた患者様とはかなり様子が違いました。突然怒り出したり、何も無いのに突然笑いだしたり、暴れたり、走りだしたり、ウロウロしたりいろいろな方がおられます。基本的には身体障害のある方たちにストレッチや可動域、筋力訓練、立位、歩行訓練など身体機能の維持向上を目指して運動訓練を行っています。それとは別にサービス管理責任者(サビ管)の認定資格を取得して20数名の利用者様を担当しています。サビ管という言葉自体ここに来て初めて知りましたが、介護保険でのケアマネ的存在の相談支援員専門員によるサービス利用計画を基に、当施設での各利用者様の個別支援会議を開催し、その後個別支援計画を作成して、定期的なモニタリングや個別支援計画の再考など、また施設内で職員がより良い支援が行えるように指導を行うことなどが主な仕事です。リハビリの通常の仕事もですが、入浴介助やトイレ介助も頻繁にあり、昼食のお世話や送迎、雑用、記録もあり病院内ほどではありませんが毎日忙しく動き回っています。また、共同生活援助施設(グループホーム)が2棟あり、21時から翌朝7時までの宿直業務も月に数回行っています。昨年末にもう1名理学療法士(子育て中の若い女性)が入職し、通常の介護給付にリハビリテーション加算を算定できないかと模索中ですが、医師の指示書が必要で、施設内に医師がいるわけではないのでなかなかハードルが高いのが現状です。

65歳の自分がいつまでも働き続けることはできないので、今後は同僚理学療法士に自分同様サビ管を取得していただき、自分がいつ退職しても良いようにすることが次の仕事かと思っています。

凡人の自分ですが、これまで岐阜県理学療法士会ではいろいろな役職をさせていただきました。昔は会員数が少なかったのでやらざるを得なかったというのが実情ですが、今では多くの有能な会員が在籍されているので、皆さんでどんどん士会活動を盛り上げてほしいと思います。また、障害者福祉の世界にも多くの会員が関わって下さることを期待しています。





## 診療報酬対策部の紹介

岐阜清流病院 浅野 浩一郎

日ごろから県士会活動にご尽力頂いている会員の皆様、そして2026年4月から新入会員として入会された新規会員の皆様、岐阜県理学療法士会職能局診療報酬対策部部長の浅野です。皆様におかれましては、4月より新入職員を迎え入れ、気分新たに業務に励まれていることと思います。

このたび、診療報酬対策部紹介のお時間を頂くこととなりました。これまでの診療報酬対策部としての活動を振り返りますと、一昨年に開催された東海北陸理学療法学会における、診療報酬に対する意見交換会の開催などが挙げられますが、県士会単位での活動は目立って実施できていない状況でありました。

さて、今年度は、診療報酬改定の年にあたり、貴病院・貴施設においては、改訂にあたっての各システムや業務の整備などにご尽力されていることと存じます。今年度の改定では、リハビリテーションにとっては、誤解を恐れずに一言で表すと「単位数を稼ぎ訓練室で訓練を実施する」という時代から、「外に出て質と成果を出し、チームへ貢献する」ということが厳しく問われる時代への移行と読み解くことが出来ます。急性期では、チーム医療の推進とリハビリテーションの早期介入を主題として改定され、「病棟業務への貢献度」など評価制度の見直しが問われます。また、回復期では、成果主義と365日体制の実践がより厳しく問われます。また、人材確保の為に「常勤」の定義が見直され、柔軟な働き方(実施単位数の算定対象業務の見直し)が可能となります。管理業務をマネジメントされる管理者の方々におかれましては、これまで卒後教育、人材育成と病棟業務との間に「時間」というジレンマが存在しておりましたが、これらの改定で少しずつ「療法士の働き方」が変化してくるのではないのでしょうか?また、近年はAIの活用が進み、実務レベルまでAIが介入する時代となってきております。どの病院・施設においてもこれらのシフトチェンジが要求され、この変化の波についていかなければならない状況に置かれます。

これらを踏まえ、今後の診療報酬対策部の活動の目標としては、前述した改定内容を含めた診療報酬に関わる悩みや疑問を、病院・施設間で情報を共有し解決に向けての一助となるような取り組みを行うこととなります。具体的には、施設間代表者による診療報酬の意見交換会の定期的な開催、診療報酬に関する質問・疑問にお答えする窓口の創設を考えております。

さて、2026年5月、県民公開講座に併せて実施される施設間代表者連絡会議において「診療報酬改定に関する意見交換会」を開催します。病院・施設間での活発な意見交換、顔をつなぐという意味での交流を図れたらと考えております。診療報酬対策部としての新たな第1歩となることを期待しています。

今後とも会員の皆様の業務の一助となるよう活動に邁進していく所存であります。皆様の力をお借りする機会があると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。





政策検討委員会

## 「リハビリテーションを考える議員連盟」第13回総会

～60年変わらぬ身分法の抜本的見直しと、  
国家戦略としてのリハビリテーション推進に向けて～



令和8年4月22日(水)に憲政記念館にて「リハビリテーションを考える議員連盟」第13回総会(会長:鈴木俊一衆議院議員)が開催されました。本総会において理学療法士小川かつみ参議院議員が事務局長として司会進行され、同じく理学療法士の田中まさし衆議院議員は事務局長代理に就任されました。国会議員をはじめ、厚生労働省、文部科学省、法務省、内閣府の行政担当者、そして全国より多くの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が出席されました。当会からも河合克尚会長が、岐阜県理学療法士連盟の原司会長と共に出席し、現場の声を直接政界へと届けるべく活発な議論を見守りました。

議員連盟には247名の国会議員が所属され、岐阜県からは野田聖子衆議院議員(顧問)、加藤大博衆議院議員、古屋圭司衆議院議員(副会長)、渡辺猛之参議院議員、若井敦子参議院議員がご入会され、日頃より理学療法士の課題について意見交換をしております。

当日は公務にてご多忙の中、秘書の代理出席を含めてのご出席となりましたが、本議員連盟の副会長を務める古屋圭司衆議院議員にはご本人がご出席いただきました。そして下記の要望事項について3療法士会より説明、それに対する各省庁からの回答をいただき、解決に向けて活発な意見交換がなされました。

### リハビリテーション専門職 3療法士会からの要望事項

- ① 約60年変わらない「理学療法士及び作業療法士法」の現代・次代を見据えた抜本的見直し
- ② 最低学位の3年制教育から世界レベルの4年制養成課程以上へ
- ③ リハビリテーション施策を国家戦略として総合的かつ戦略的に推進するための統括部署の設置
- ④ 報酬改定に紐付かない恒久的財源による処遇改善
- ⑤ 医療・福祉・予防・保健・海外展開にいたる一気通貫のリハビリテーション施策の推進及びこれに必要な新たな財政措置
- ⑥ 訪問リハビリテーションサービス提供専門機関新設の検討
- ⑦ 外国人在留資格「医療」の項に「言語聴覚士」を追記

最後に、要望事項7項目を柱とする「リハビリテーションを考える議員連盟 決議(案)」が満場一致で承認されました。議員連盟の鈴木俊一会長は改めて「我々議連は真剣に取り組んでいる。関係省庁はこれをしっかり受け止め、実現に向けて全力を尽くしてほしい」と締めくくりました。政策検討委員会として、県民が安心して生活できる環境づくりを見据えた当会の政策要望を実現するため、引き続き県政・国政へ現場の声を届けてまいります。



お世話になっている国会議員の事務所を訪問し、意見交換と共に当会 ども福祉部  
6月6日(土)～7日(日)開催の「2026岐阜子ども福祉機器展」を紹介させていただきました。



小川かつみ 参議院議員



渡辺猛之 参議院議員



古屋圭司 衆議院議員



加藤大博 衆議院議員



斉藤りえ 衆議院議員



野田聖子 衆議院議員



若井あつこ 参議院議員

# 会員の声

## 3年目を迎えて

西濃厚生病院 久保田 康介

今年度の4月で3年目を迎えました。ここまで来るのにあっという間だったと感じています。仕事だけでなく私生活でも実家から出て暮らすようになり、仕事と家事の両立の大変さ、料理や洗濯をしてくれていた親のありがたみを感じております。

私が勤務している病院は一般病棟・回復期病棟・地域包括ケア病棟と幅広く対応できる総合病院で、色々な経験をさせてもらっています。一般病棟では患者様のリスク管理や安全確保を、回復期や地域包括ケア病棟では身体機能を高めつつ在宅復帰を目指せるように日々考えながら仕事をしております。特に当院では急性期から回復期まで一貫して関わられるため患者様の入院から退院までの経過をみることが出来ます。介入当初は骨折などで歩くことが困難だった患者様が、歩けるようになり退院前に「ありがとう」や「おかげで家に帰れるようになった」と言ってもらえると、笑みがこぼれ嬉しいものです。介入期間が長い分、より感じるように思います。

加えて現在私は、目標としている糖尿病療法指導士の取得に向けて準備を進めています。当院で入院されている糖尿病の教育入院を任されることが多いですが、患者様全員がリハビリを快く受け入れて下さるとは限りません。仕方がなくやる人もいれば、入院を機に習慣を見直し積極的に取り組む人もいます。いかに糖尿病と向き合ってもらえるか、運動だけに目を配るのではなく患者様の生活背景も考えながら実施しています。

仕事だけでなく病院の部活動での一環でもある野球部に所属しています。元々小学生の時に少しやってただけで「大丈夫かな」と心配していました。適度な運動で息抜きになればいいかなと思っていましたが、そんな心配が吹っ飛ばすほど楽しくやっています。リハビリ科が多い野球部ですが他職種の方も多く在籍しており、仕事上でも話しやすくなり人間関係の構築にも大きく関わっています。しかし週に1回ほどの練習で、練習後は疲労困憊・身体が痛くなるなど24歳ながら年をとってきたなと痛感する時があります。

さて3年目を迎えて後輩が少しずつ入ってくるようになり、少しずつではありますが先輩の自覚を持つようになってきました。今後仕事にリハビリや患者様のことで質問されることがこれから徐々に増えてくると思っています。いざ聞かれた時に本当にこれで合っているのか、自信を持って言えるか心配が勝ることがあると思っています。しかしそこで他の先輩に聞いて頼んで終わりではなく、自分で考え一度先輩に確認する、自分で一から調べてみるなど自分でも学びつつ、少しでも頼られる先輩になっていけたらいいなと思っています。只々経験年数だけが進むだけでなく、自分のスキルアップ・後輩への指導など今まで先輩方が行ってきたことを自分もできるようになりたいと思っています。



**2026  
岐阜こども  
福祉機器展**

リハビリスタッフと見つける、この子らしい「できた!」のカチ。

乗って、試して、  
決められるから安心

ひとりひとりに合った  
機器に、  
きっと出せる!

**日時**  
6/6(土)10:00~17:00  
6/7(日)9:00~16:00

**会場**  
**セラミックパークMINO**  
TEL:0572-28-3200  
岐阜県多治見市東町4丁目2-5

子ども  
まんなか

自分にあったモノを  
見つけよう!

最新情報は  
随時更新中



受付時間定員制  
参加には事前登録  
をお願いします。  
URL <https://x.gd/16ysD>



出展予定品：福祉車両、車椅子、バギー、歩行器、座位保持椅子、  
カーシート、リフト、シャワーチェア、コミュニケーションボード、衣類、発達支援機器、  
食器、食品など、福祉事業所様の販売等も予定しています!!!

主催：(公社)岐阜県理学療法士会  
協力：(一社)岐阜県作業療法士会、言語聴覚士会  
後援：岐阜県教育委員会、多治見市

問い合わせ先：岐阜県理学療法士会  
こども福祉部 栗木 大貴  
gifu\_codomo\_fukusikiki@yahoo.co.jp

## 令和8年度 賛助会員

### 有限会社 加納ビジネス

〒500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町2-32  
TEL:058-273-3007(代)

### 東名ブレース株式会社

〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町271  
TEL:0561-85-7355

### 中部学院大学

〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地  
TEL:0575-24-2211

### 有限会社 であい工房

〒738-0034 広島県廿日市市宮内3300  
TEL:0829-39-0041

### 株式会社 K-support岐阜

〒503-1277 岐阜県養老郡養老町有尾20番地4  
TEL:0584-47-9507

### 有限会社 中部義肢

〒486-0911 愛知県春日井市西高山町3丁目16-12  
TEL:0568-34-7143

### 株式会社 松本義肢製作所

〒485-0805 愛知県小牧市大字林210-3  
TEL:0568-47-1701

### 株式会社 ケア

〒502-0848 岐阜県岐阜市早田本町1丁目9番地  
TEL:058-233-7981

### 昭和貿易株式会社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目18番27号  
TEL:06-6441-5612

### 岐阜日産自動車 株式会社

〒500-8137 岐阜県岐阜市東興町1番地  
TEL:058-245-1313

### 岐阜保健大学

〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地  
TEL:058-274-5001

### 学校法人誠広学園 平成医療短期大学

〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野180  
TEL:058-234-3324

### 株式会社 Lee製作室

〒910-0374 福井県坂井市丸岡町北横地40-9  
TEL:0776-50-1105

### 株式会社 コーヤシステムデザイン

〒194-0212 東京都町田市小山町142-1  
TEL:042-798-4644

✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿ 2026.5.25 ✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会 会長／河合 克尚

事務局：〒500-8384 岐阜市藪田南1丁目11番12号 岐阜水産会館 4B-4号室 TEL・FAX(058)277-6166

編集：矢代真也 印刷所：ヨツハシ株式会社